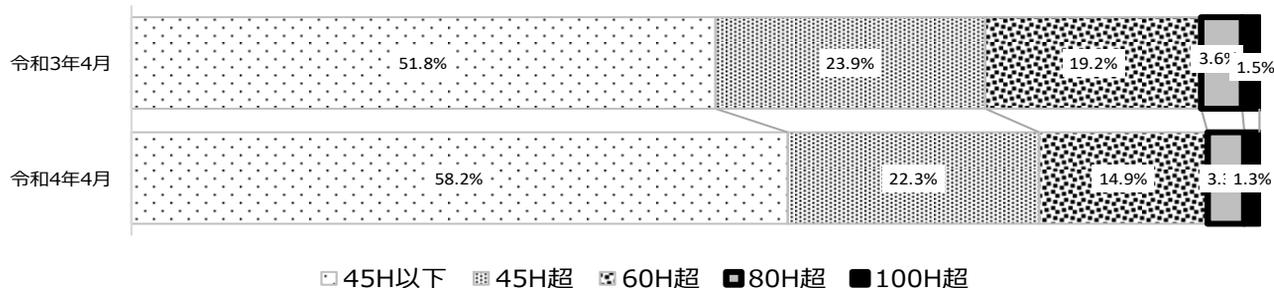


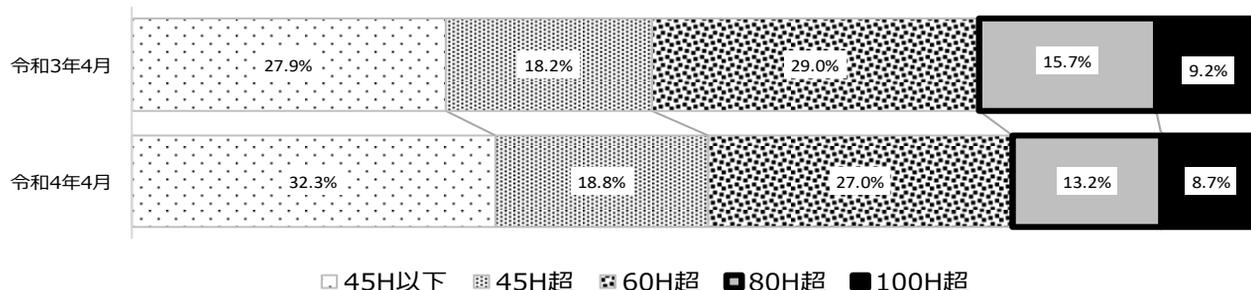
時間外在校等時間の状況【4月の経年変化】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

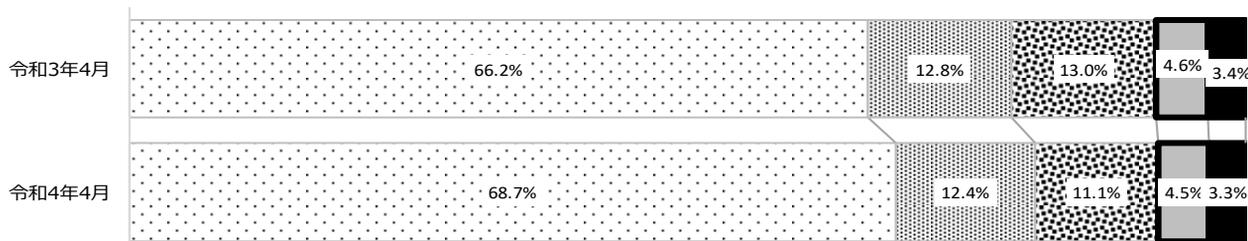
1 小学校の状況



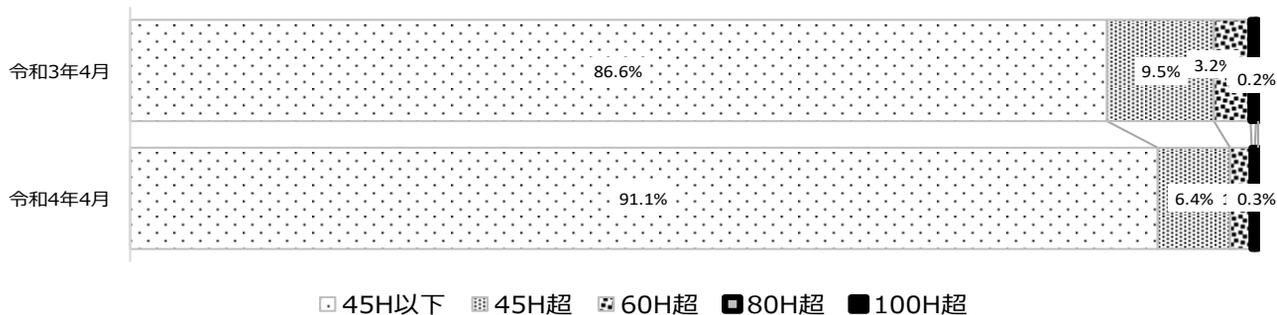
2 中学校の状況



3 高等学校の状況（中等教育学校含む）



4 特別支援学校の状況

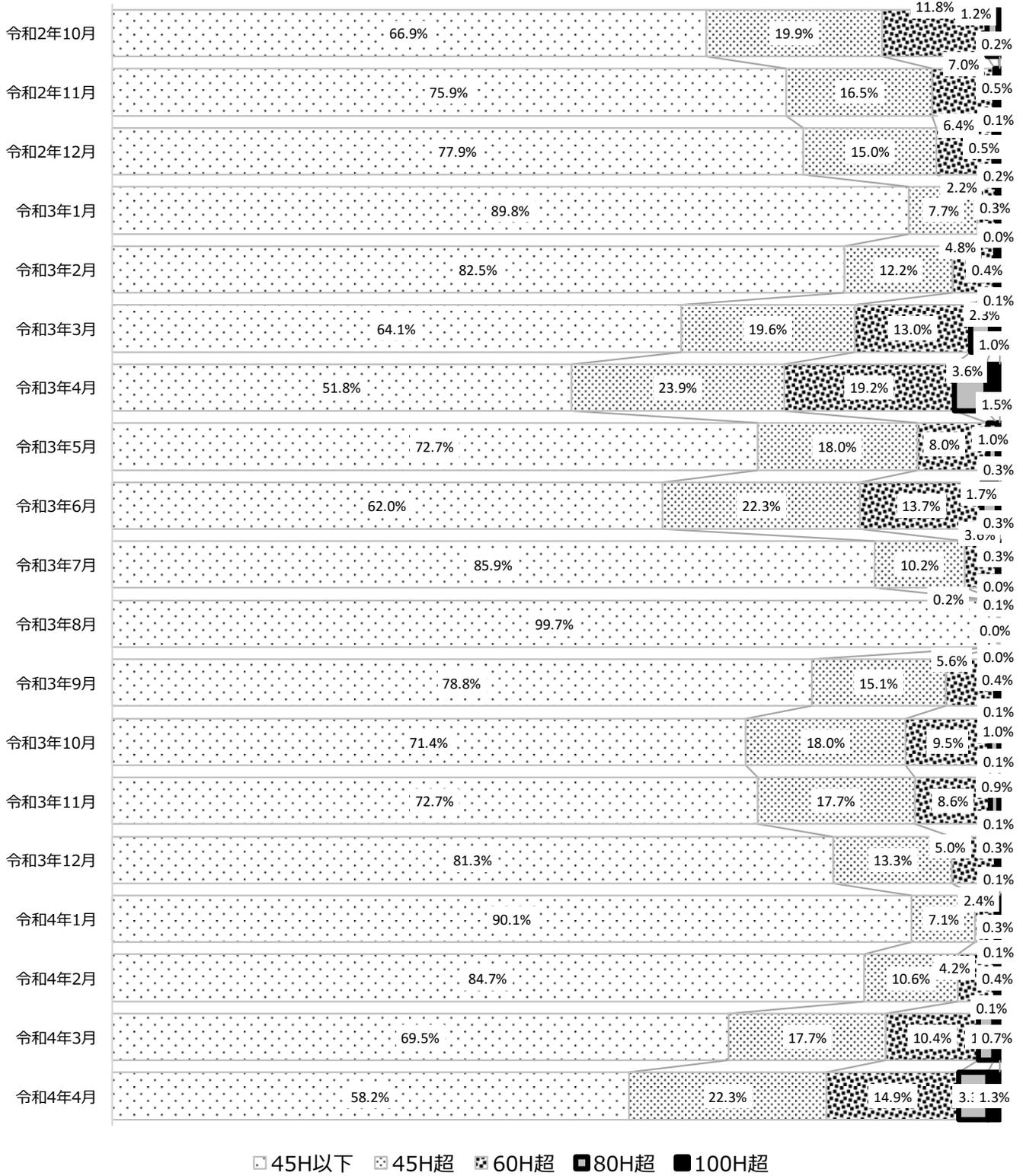


■ 4月は、全校種において、時間外在校等時間が最も長くなる月です。その中でも、前年度より今年度の方が月の時間外在校等時間が45時間以下の職員の割合が高くなっており、時間外在校等時間は縮減傾向となっています。しかし、月80時間以上の職員の割合が前年度とほぼ変わっていないという傾向も観られます。特定の教職員に業務が偏っている場合は、校務分掌や業務内容の見直しを図ってみるなど、多忙化解消に向けた取組に御協力をお願いいたします。

時間外在校等時間の状況【令和2年10月～】

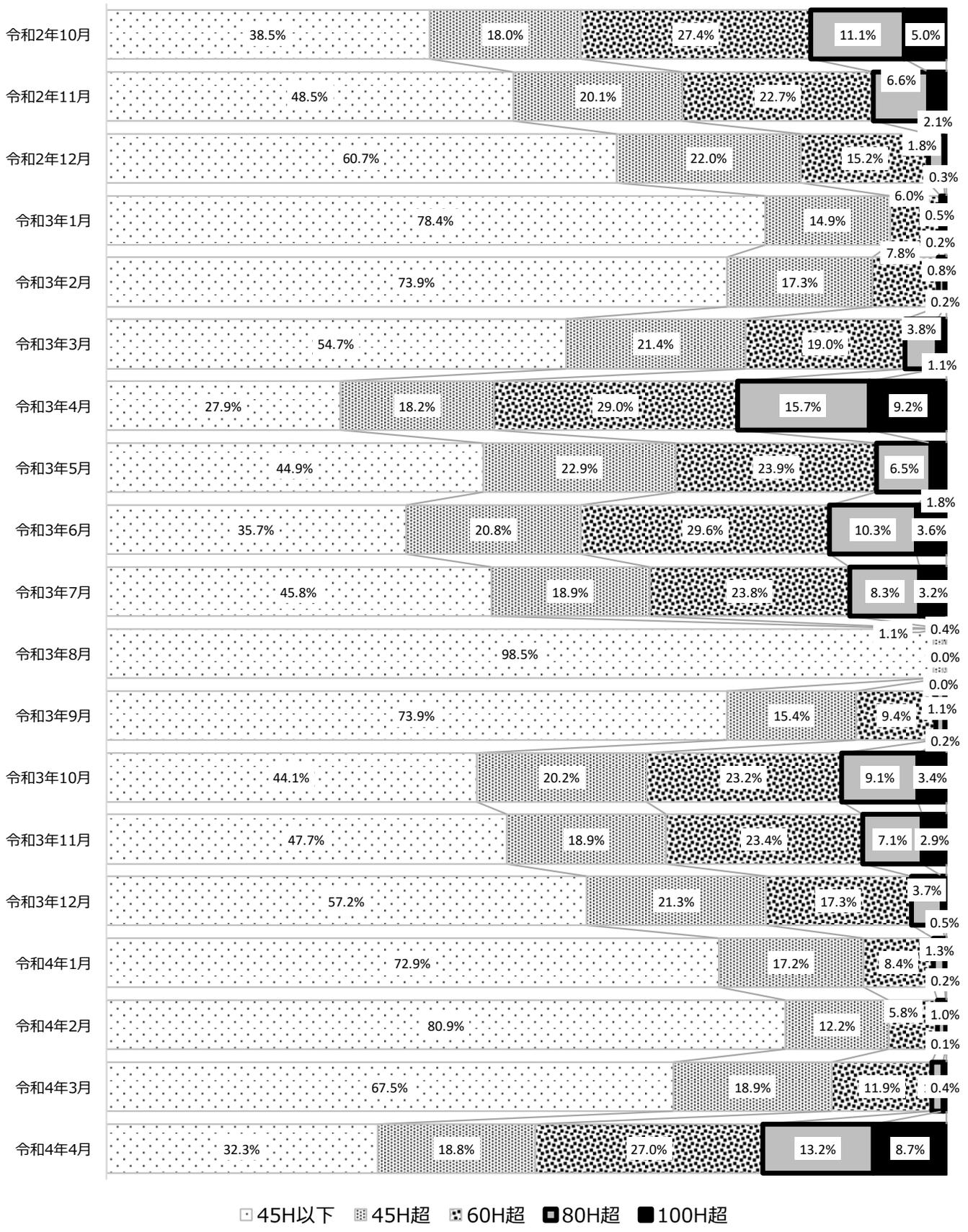
[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

1 小学校の状況



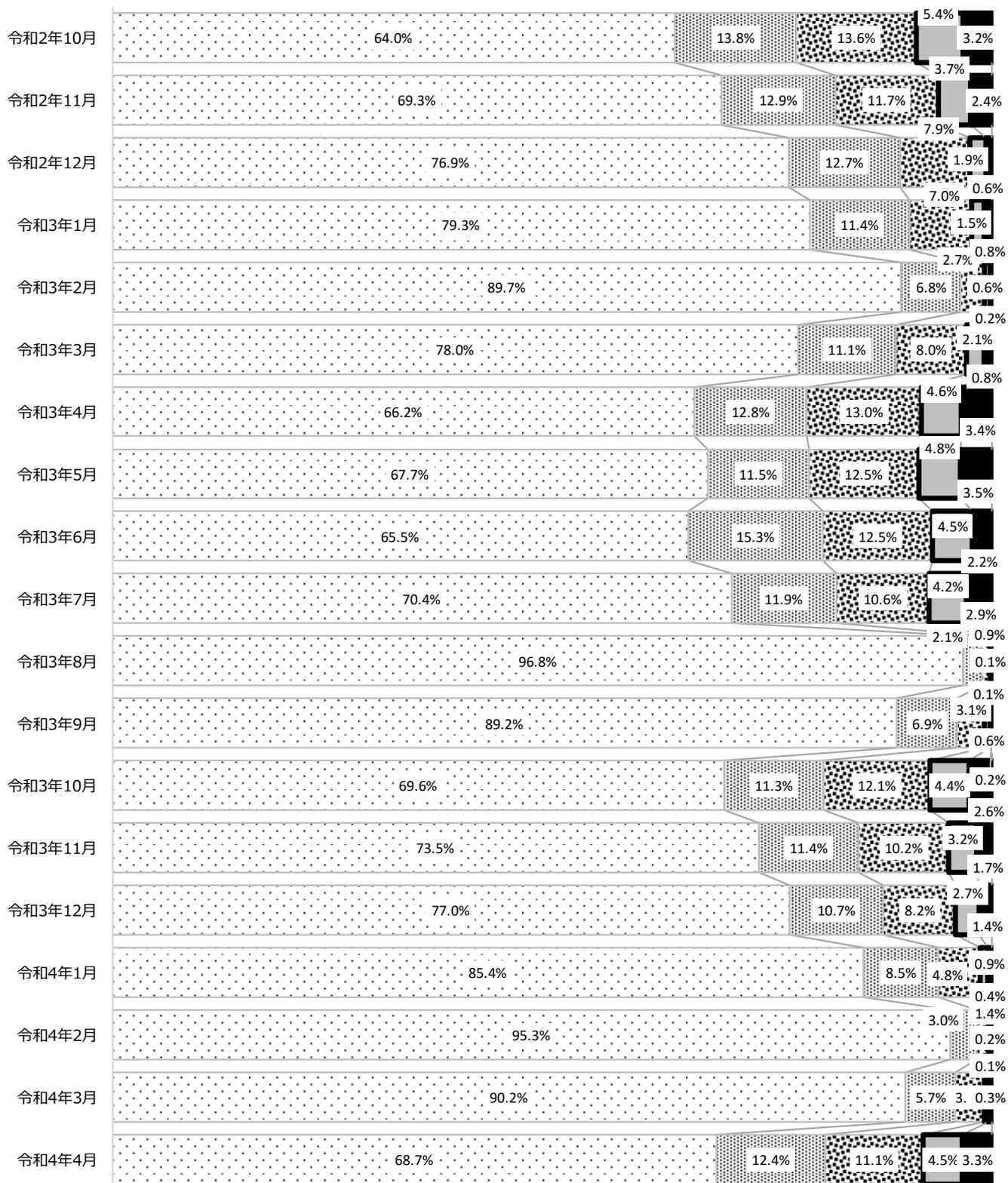
□ 45H以下 ▨ 45H超 ▩ 60H超 ■ 80H超 ■ 100H超

2 中学校の状況



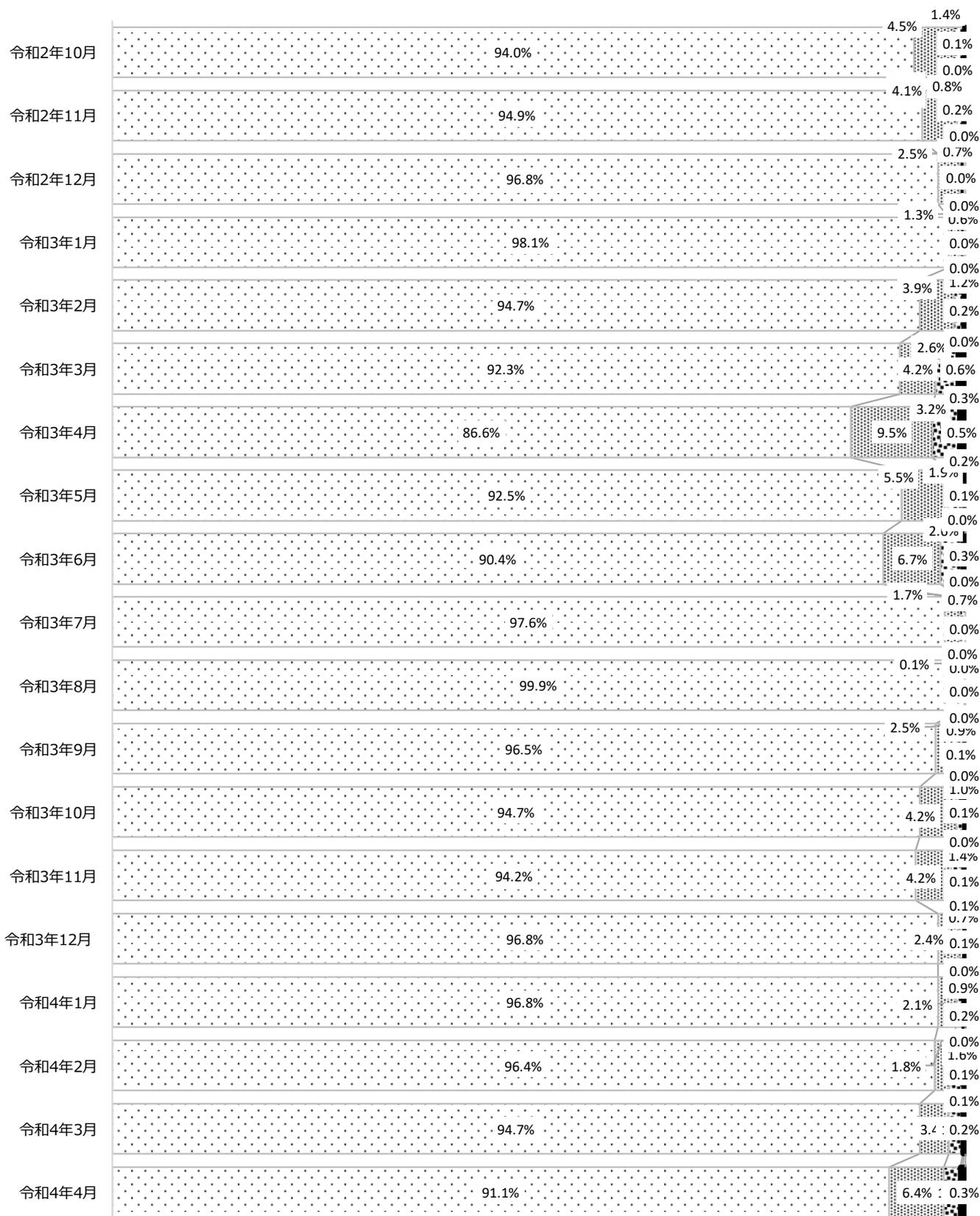
45H以下
 45H超
 60H超
 80H超
 100H超

3 高等学校の状況（中等教育学校含む）



45H以下
 45H超
 60H超
 80H超
 100H超

4 特別支援学校の状況



□ 45H以下 ■ 45H超 ▨ 60H超 ■ 80H超 ■ 100H超